

令和元年度(2019年度)第3回政策会議

日時 令和2年(2020年)1月8日(水) 14:30~15:00
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 谷口副市長 平井副市長 田畑企業局長 辻教育長
湯浅企画部長 小山内総務部長 小林財務部長

ホテル恵風民営化について

◎対応 芝井榎法華支所長 京野榎法華支所地域振興課長
木戸榎法華支所産業建設課長

◆ 議題の趣旨 ◆

ホテル恵風民営化について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

■ 木戸産業建設課長

ホテル恵風については、平成26年(2014年)3月に策定された「今後の公共施設のあり方に関する基本方針」において民営化する施設と位置づけた後、民営化の時期や必要となる準備等について検討を進めてきたところである。

当該施設は、20年以上にわたり、公の施設として運営してきたところであるが、民営化により柔軟な発想やノウハウを生かし、さらに魅力ある施設運営が期待できることから、現指定管理期間満了後の令和4年度(2022年度)を目標年度と定め、必要となる諸準備を本格的に開始することとしたいと考えている。

なお、民営化にあたっては、下記の対象物件について、公募型プロポーザル方式により売却先を選定することとしたい。

売却対象物件については、建物はホテル恵風本体、土地はホテル恵風の敷地として記載の2筆の土地を、温泉の源泉では、水無温泉4号井および恵山岬温泉5号井の2つの源泉を売却物件としたいと考えている。

売却最低価格については、ひろめ荘と同様に、建物診断による判定結果を不動産鑑定評価額に加味し、総合的に売却価格を決定したいと考えており、売却先の選定方法については、公募型プロポーザル方式ということで、学識経験者、地元各種団体等で構成する選定委員会により、事業計画書等を審査し、売却先を選定したいと考えている。

続いて、今後のスケジュールである。今年度は地域審議会への報告を経て、令和2年度(2020年度)に入り、4月に地域内各種団体への報告、5月から9月にかけて測量、建物診断、不動産鑑定を行い、10月から3月にかけて公募要領(案)作成等の

事務を進めるほか、必要な修繕を行う予定である。

令和3年度(2021年度)については、公募選定委員の委嘱、選定委員会の開催等、公募の具体的な事務作業を行うこととしている。

これらの手続きを踏まえ、令和4年(2022年度)4月1日から完全民営化したいと考えている。

主な譲渡条件についても、ひろめ荘と同様に地域への影響などを考慮することとし、施設等の利用に係る条件では、公衆浴場(日帰り入浴)の運営や利用料金の激変緩和措置を5年間とするほか、売買契約の解除では、譲渡条件等に違反した際は、契約を解除し、違約金等を請求するという様な条件設定としたいと考えている。

なお、灯台資料館については、平成28年度(2016年度)より休館しているところであり、施設の老朽化や展示物の陳腐化が進んでおり、再稼働に多額の設備改修費用が見込まれるため、廃止・解体を検討していたところであるが、この度のホテル恵風の売却に合わせ、ホテル買い受け意向のある事業者に対し、灯台資料館の活用意向の有無について聞き取るサウンディング型市場調査をし、売却の可能性を検討したいと考えている。

■工藤市長

購入意向を示す事業者は見込まれるのか。

■芝井支所長

いくつか打診をしたなかでは、購入の意思を示すところもあった。

なお、灯台資料館も併せて話を聞いてみたところである。

■工藤市長

ホテルと併せて購入することについて、意向を聞くのは構わない。

■小林財務部長

公募型プロポーザルだが、プロポーザルはなにを見るのか。事業計画を見るのか。

■木戸産業建設課長

ひろめ荘も事業計画を出してもらい、一定以上の点数をとったので入札を行った。

■小林財務部長

総合評価方式などではなく、点数をとれば次に価格ということでもいいのか。

■芝井支所長

お見込みのとおりである。

■湯浅企画部長

他に意見等ないようなので、本件については了承とさせていただきます。